

2005年度会員調査報告書

(社)日本医療社会事業協会組織部

(理事：松井久典、権田吉儀、谷内智男 事務局員：斉藤祐治)

(社)日本医療社会事業協会個人情報保護規程第12条に基づき、2005年会員調査を実施した。

調査時期：2005年7月～10月

対象者：正会員全員3,040名

回答者数：2,339名（回収率76.9%）

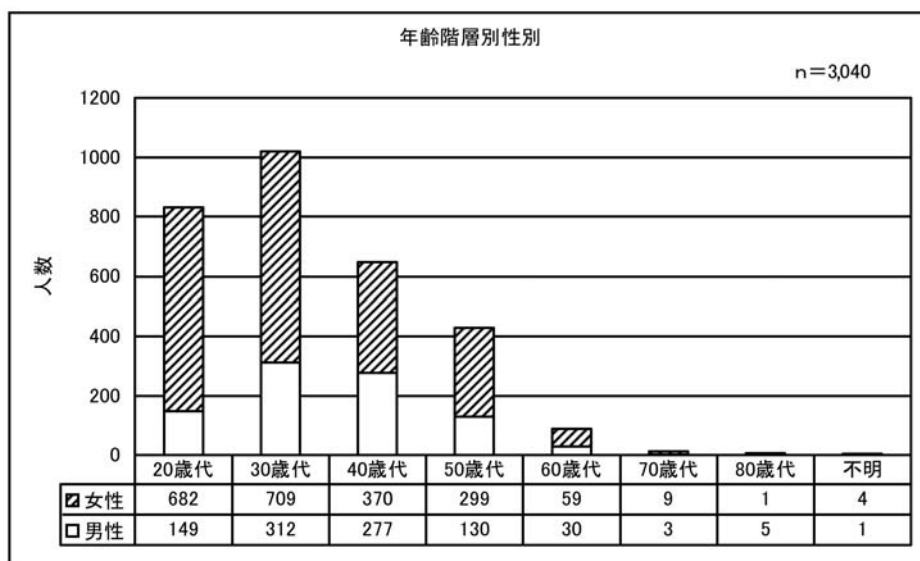
1、全対象者（n＝3,040名）の内わけ

①性別・年齢

年代別では、30歳代が最多頻度値となっている。

1歳刻みで見ると、最年少は22歳、最年長は89歳、最多頻度値は27歳と28歳。中心値は35歳。

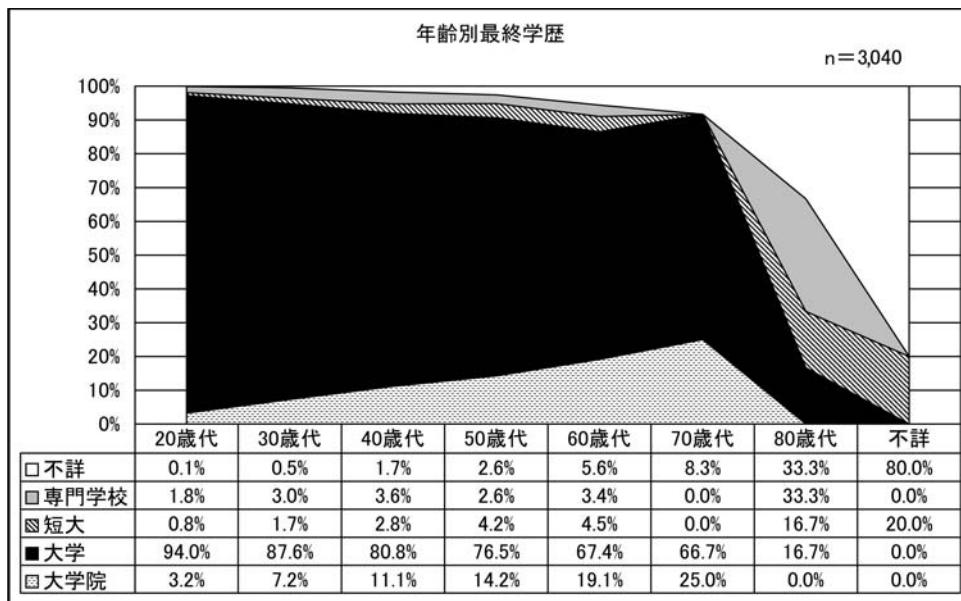
平均年齢は38.0歳。標準偏差は11.0歳。



②年代別最終学歴

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	不詳
大学院	27	74	72	61	17	3		
大学	781	894	523	328	60	8	1	
短大	7	17	18	18	4		1	1
専門学校	15	31	23	11	3		2	
不詳	1	5	11	11	5	1	2	4

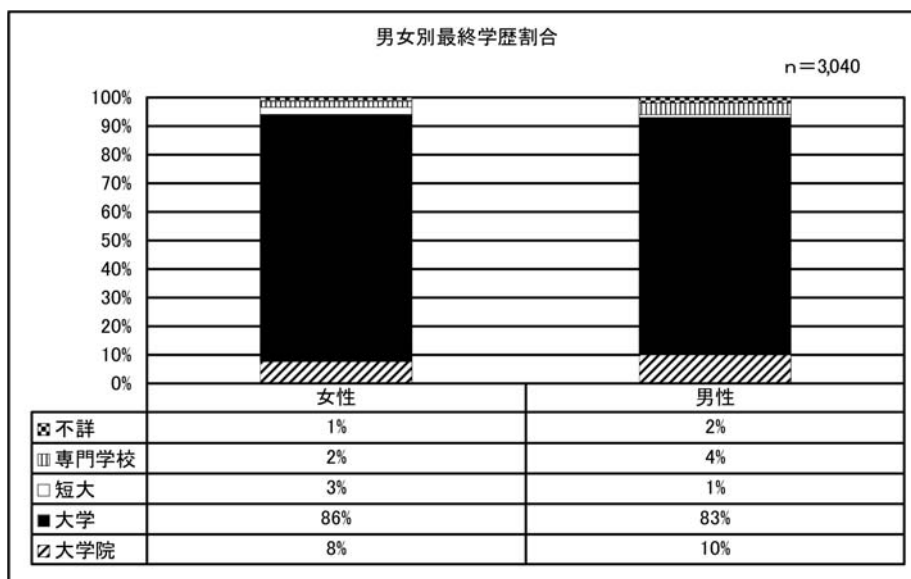
割合で見ると、20歳代では97%が大学以上の卒業である。大学卒業以上の割合は60歳代まで下降傾向となり、60歳代では87%まで下降するが、反面大学院の卒業は20歳代と比べ70歳代まで増加し続け、70歳代では25%に達する。



③男女別最終学歴

	大学院	大学	短大	専門学校	不詳	総計
女性	163	1,842	56	48	24	2,133
男性	91	753	10	37	16	907
総計	254	2,595	66	85	40	3,040

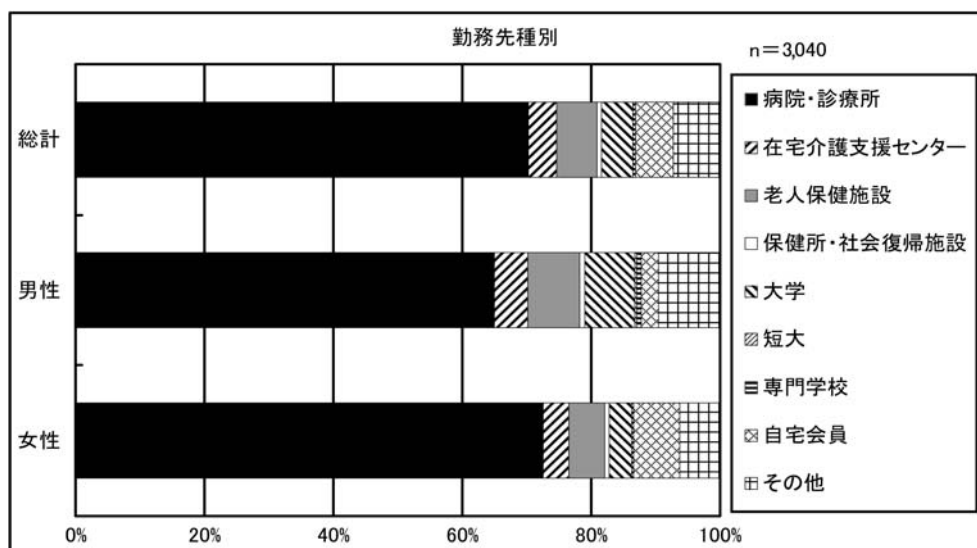
割合で見ると、大学院卒の割合は男性が女性より2%高くなっているが、「大学院+大学」の割合は、女性が男性より1%高くなっており、有意な差はないと思われる。



④勤務先種別

	女性	男性	総計
病院・診療所	1,546	589	2,135
在宅介護支援センター	85	47	132
老人保健施設	119	73	192
保健所・社会復帰施設	15	7	22
大学	75	71	146
短大		2	2
専門学校	5	7	12
自宅会員	153	24	177
その他	135	87	222
総計	2,133	907	3,040

勤務先種別で見ると、会員の70%が病院及び診療所で、保健医療機関（病院・診療所、在宅介護支援センター、老人保健施設、保健所、社会復帰施設）では82%で、学校（大学、短大、専門学校の教員）は5%となっている。それを男女別で見ると、男性は保健医療機関と学校がそれぞれ79%、9%であるのに対して、女性は83%、4%という割合となっている。実数の大学教員は女性75名、男性71名である。



⑤ 都道府県別会員数

都道府県	女性	男性	合計
北海道	406	304	710
青森県	16	9	25
岩手県	15	4	19
宮城県	45	26	71
秋田県	10	8	18
山形県	14	8	22
福島県	32	19	51
茨城県	47	12	59
栃木県	12	10	22
群馬県	33	13	46
埼玉県	104	33	137
千葉県	97	21	118
東京都	344	90	434
神奈川県	174	41	215
新潟県	22	17	39
富山県	12	4	16
石川県	46	8	54
福井県	6	2	8
長野県	30	11	41
山梨県	22	7	29
岐阜県	15	3	18
静岡県	33	15	48
愛知県	80	47	127
三重県	13	5	18
滋賀県	10	4	14

京都府	60	12	72
大阪府	90	28	118
兵庫県	67	28	95
奈良県	8	7	15
和歌山県	3	0	3
鳥取県	8	0	8
島根県	5	10	15
岡山県	54	17	71
広島県	27	14	41
山口県	8	2	10
徳島県	7	5	12
香川県	12	7	19
愛媛県	17	3	20
高知県	25	3	28
福岡県	47	13	60
佐賀県	3	3	6
長崎県	11	5	16
熊本県	9	3	12
大分県	6	8	14
宮崎県	6	4	10
鹿児島県	7	9	16
沖縄県	14	5	19
海外	1		1
合計	2,133	907	3,040

北海道が際立って多いのは、道協会加入の条件に当協会の加入が義務づけられているからである。

⑥ 地方別人数

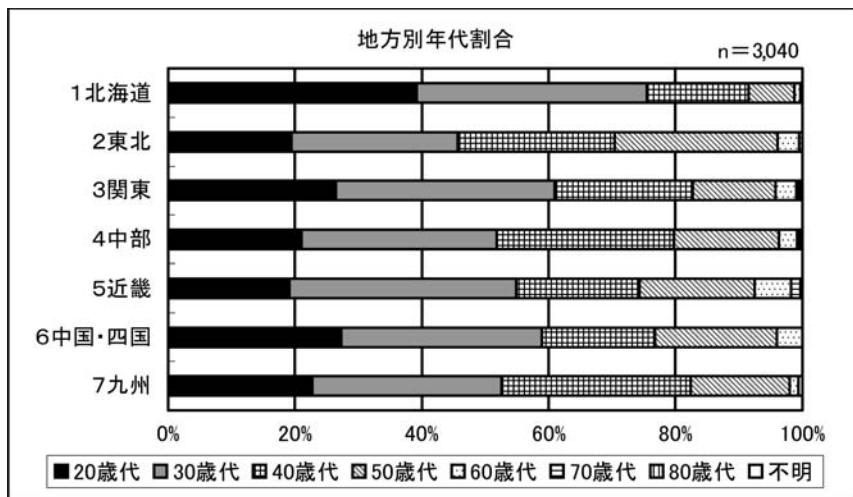
県別の人数を、地方に置き直した人数を示す。地方の分け方は、大阪書籍の中学社会科地理的分野の分け方に従った。(http://www.osaka-shoseki.co.jp/kyoka/c_junior14_txt/c1401_03_02.html) 海外は、便宜的に九州に入れた。

	女性	男性	総計
1 北海道	406	304	710
2 東北	132	74	206
3 関東	811	220	1,031
4 中部	266	114	380
5 近畿	251	84	335
6 中国・四国	163	61	224
7 九州	104	50	154
総計	2,133	907	3,040

⑦地方別年齢

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	不明	総計
1北海道	278	258	114	51	7		2		710
2東北	40	54	51	53	7	1			206
3関東	273	355	225	134	34	5	2	3	1,031
4中部	80	117	106	63	11	1	1	1	380
5近畿	64	120	65	61	19	5	1		335
6中国・四国	61	71	40	43	9				224
7九州	35	46	46	24	2			1	154

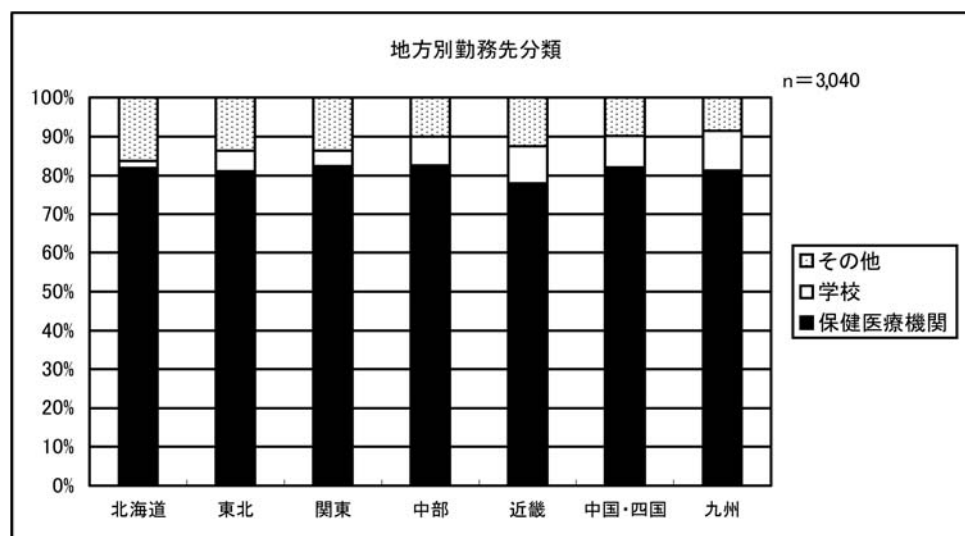
年齢を地方別で見ると、平均年齢より4歳ほど低いのが北海道で、4歳ほど高いのが東北である。



⑧地方別勤務先種別

地方により若干の差があるが、8割強が保健医療機関に勤務している。

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州	総計
1病院・診療所	430	143	766	288	228	162	118	2,135
2在宅介護支援センター	43	4	40	14	19	7	5	132
3老人保健施設	99	16	38	12	12	14	1	192
4保健所・社会復帰施設	9	4	5		2	1	1	22
6大学	8	10	40	25	32	15	16	146
7短大			1	1				2
8専門学校	5	1	1	2		3		12
9自宅会員	36	12	71	16	27	6	9	177
その他	80	16	69	22	15	16	4	222
総計	710	206	1,031	380	335	224	154	3,040



2、回答者（2,339名）の分析

今回の調査に回答した会員について分析を行った。

①回答者の属性

今回の回答者に偏りがないかを調べた結果、下記の通り、ほほ母集団（全正会員）と同じであることがわかった。

性別	回答者数	回答率
女性	1,686	79.0%
男性	653	72.0%
総計	2,339	76.9%

年齢：平均年齢：37.1歳±10.6歳

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	総計
回答者数	700	798	468	317	48	5	3	2,339
回答率	84.2%	78.2%	72.3%	73.9%	53.9%	41.7%	50.0%	76.9%

最終学歴：

	回答者数	回答率
1 大学院	187	73.6%
2 大学	2,032	78.3%
3 短大	48	72.7%
4 専門学校	58	68.2%
5 不詳	14	35.0%
総計	2,339	76.9%

勤務先種別：

	回答者数	回答率
1病院・診療所	1,729	81.0%
2在宅介護支援センター	101	76.5%
3老人保健施設	138	71.9%
4保健所・社会復帰施設	19	86.4%
6大学	93	63.7%
7短大	0	0.0%
8専門学校	5	41.7%
9自宅会員	103	58.2%
その他	151	68.0%
総計	2,339	76.9%

地方別回答者数：

	回答者数	回答率
1北海道	538	75.8%
2東北	157	76.2%
3関東	803	77.9%
4中部	282	74.2%
5近畿	272	81.2%
6中国・四国	179	79.9%
7九州	108	70.1%
総計	2,339	76.9%

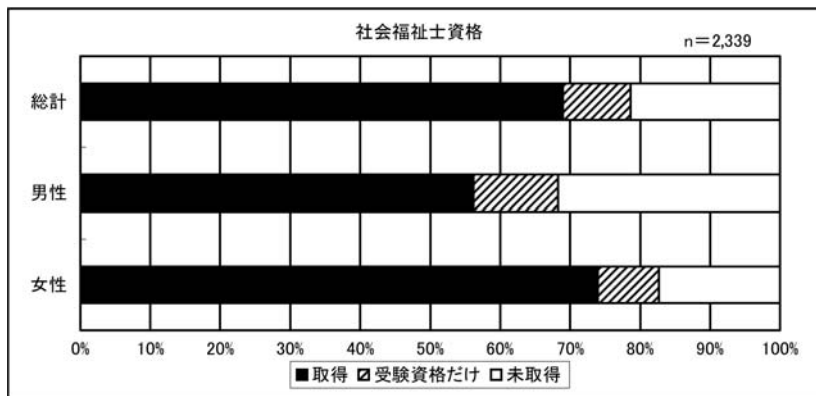
3、資格取得状況

回答者の資格取得状況を調べた。

①社会福祉士

7割が取得し、受験資格だけの会員が1割いる。ここでは未取得に入っているが、受験資格を得るために通信教育等を受講している会員がいるので、次回調査ではさらに増えるものと思われる。

	人数			割合		
	女性	男性	総計	女性	男性	総計
取得	1,247	367	1,614	74.0%	56.2%	69.0%
受験資格だけ	147	79	226	8.7%	12.1%	9.7%
未取得	292	207	499	17.3%	31.7%	21.3%
総計	1,686	653	2,339	100.0%	100.0%	100.0%

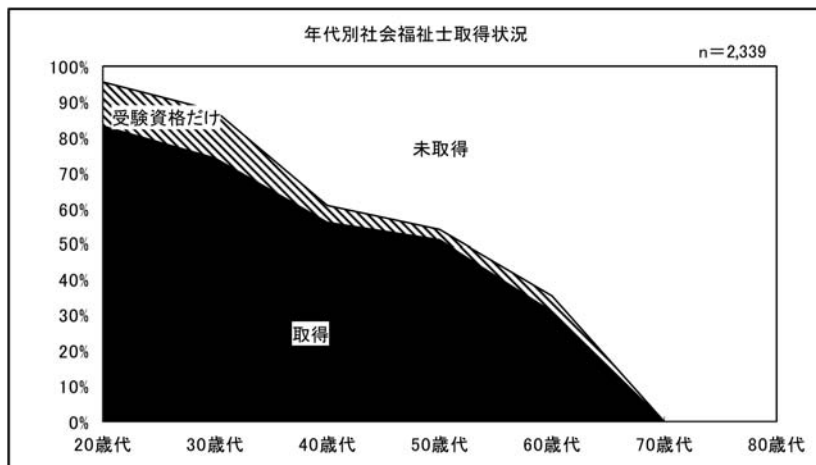


②年齢別社会福祉士取得状況

年齢が若いほど取得率が上がり、20歳代では8割を超える取得率で、受験資格もない会員は4%となっている。また、40歳代以降の会員は、就職してから取得した会員がほとんどであるが、学費だけではなくスクーリングなどのため仕事を休みながら合格した会員は、40歳代で56%、50歳代でも5割に達している。

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	総計
取得	582	592	262	162	15			1,613
受験資格だけ	88	105	22	10	2			227
未取得	30	101	184	145	31	5	3	499
総計	700	798	468	317	48	5	3	2,339

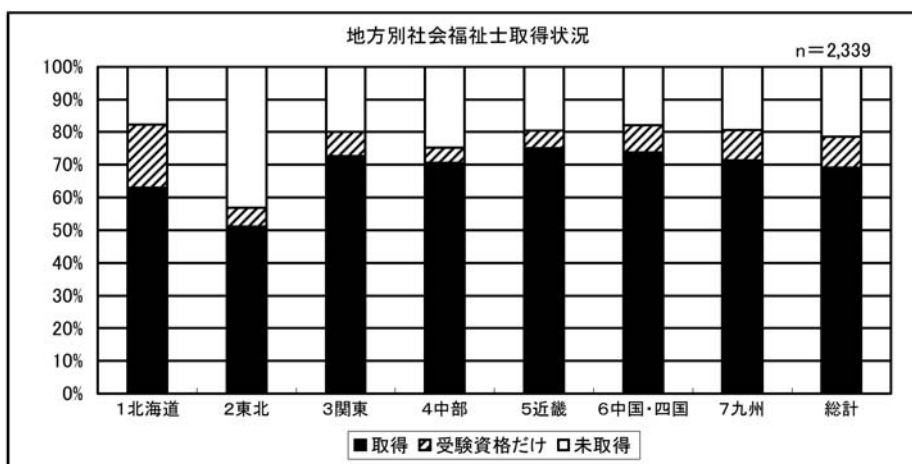
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	総計
取得	83.1%	74.2%	56.0%	51.1%	31.3%			69.0%
受験資格だけ	12.6%	13.2%	4.7%	3.2%	4.2%			9.7%
未取得	4.3%	12.7%	39.3%	45.7%	64.6%	100.0%	100.0%	21.3%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



③地方別社会福祉士取得状況

地方別で見ると、東北地方の社会福祉士取得率の低さがわかったが、これは、平均年齢の高さに起因するのではないかと思われた。また、北海道が他の地方に比べて取得率は低い、これは、「病院・診療所」勤務者が他の地域に比べて少ないという理由ではないかと思われた。

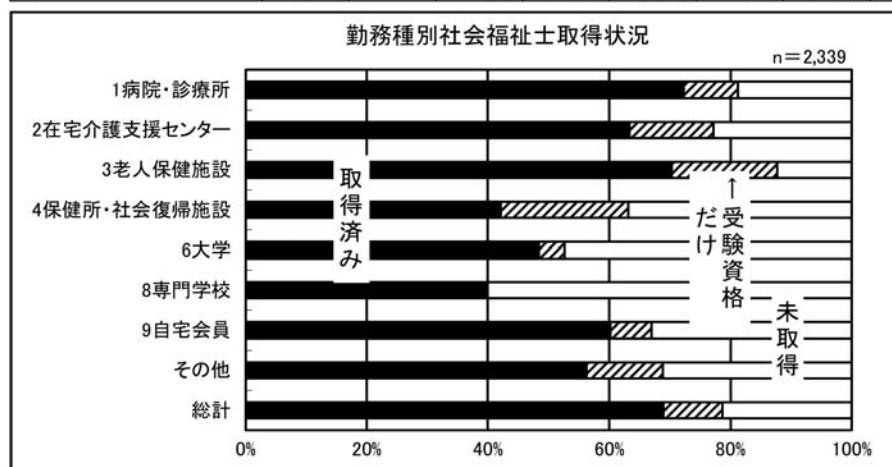
	人数				割合		
	取得	受験資格だけ	未取得	総計	取得	受験資格だけ	未取得
1北海道	338	105	95	538	62.8%	19.5%	17.7%
2東北	80	9	68	157	51.0%	5.7%	43.3%
3関東	583	60	160	803	72.6%	7.5%	19.9%
4中部	199	13	70	282	70.6%	4.6%	24.8%
5近畿	204	15	53	272	75.0%	5.5%	19.5%
6中国・四国	132	15	32	179	73.7%	8.4%	17.9%
7九州	77	10	21	108	71.3%	9.3%	19.4%
総計	1,613	227	499	2,339	69.0%	9.7%	21.3%



④勤務種別社会福祉士取得状況

勤務種別の社会福祉士取得状況を見ると、社会福祉士を取得している保健医療分野の現業者は、71%であり、教職員は48%である。

	人数				割合			平均年齢
	取得	受験資格だけ	未取得	総計	取得	受験資格だけ	未取得	
1病院・診療所	1,250	155	324	1,729	72.3%	9.0%	18.7%	35.8
2在宅介護支援センター	64	14	23	101	63.4%	13.9%	22.8%	38.5
3老人保健施設	97	24	17	138	70.3%	17.4%	12.3%	32.9
4保健所・社会復帰施設	8	4	7	19	42.1%	21.1%	36.8%	41.7
6大学	45	4	44	93	48.4%	4.3%	47.3%	48.3
8専門学校	2		3	5	40.0%	0.0%	60.0%	48.8
9自宅会員	62	7	34	103	60.2%	6.8%	33.0%	43.4
その他	85	19	47	151	56.3%	12.6%	31.1%	42.4
総計	1,613	227	499	2,339	69.0%	9.7%	21.3%	37.1



⑤精神保健福祉士の取得状況

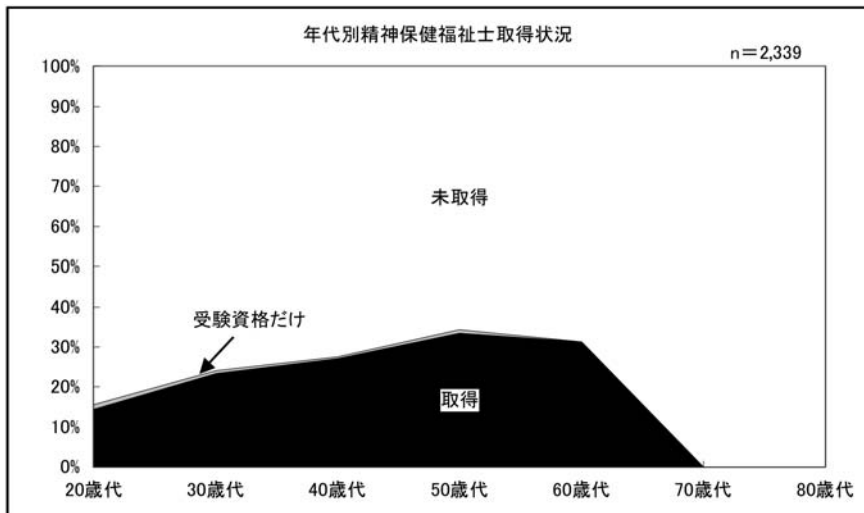
全体では2割の取得率であるが、年代別では20歳代で1割強で50歳代まで上昇し50歳代では3割に達する。これは、資格ができた当初いわゆる「現任者救済」（当時の現任者は、受験資格を得やすい仕組み）があったものと思われる。

また、「受験資格だけ」の割合が、1%程度と社会福祉士に比べ極めて低いのは、合格率が精神保健福祉士の方が高いという現実があるのではないかと考えられた。

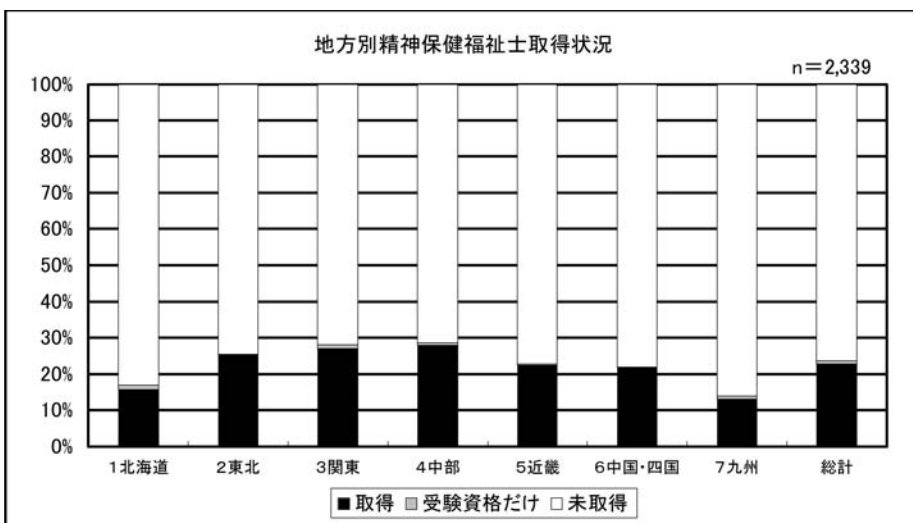
	人数			割合		
	女性	男性	総計	女性	男性	総計
取得	391	144	535	23.2%	22.1%	22.9%
受験資格だけ	17	2	19	1.0%	0.3%	0.8%
未取得	1,278	507	1,785	75.8%	77.6%	76.3%
総計	1,686	653	2,339	100.0%	100.0%	100.0%

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	総計
取得	101	186	127	106	15			535
受験資格だけ	8	6	2	3				19
未取得	591	606	339	208	33	5	3	1,785
総計	700	798	468	317	48	5	3	2,339

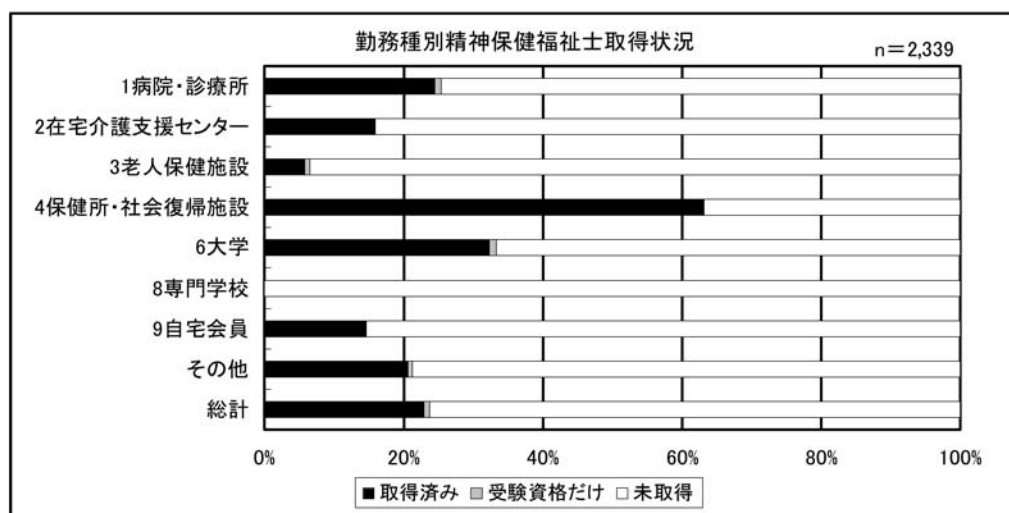
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	総計
取得	14.4%	23.3%	27.1%	33.4%	31.3%			22.9%
受験資格だけ	1.1%	0.8%	0.4%	0.9%	0.0%			0.8%
未取得	84.4%	75.9%	72.4%	65.6%	68.8%	100.0%	100.0%	76.3%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



	人数				割合		
	取得	受験資格だけ	未取得	総計	取得	受験資格だけ	未取得
1北海道	84	7	447	538	15.6%	1.3%	83.1%
2東北	40		117	157	25.5%	0.0%	74.5%
3関東	218	8	577	803	27.1%	1.0%	71.9%
4中部	79	2	201	282	28.0%	0.7%	71.3%
5近畿	61	1	210	272	22.4%	0.4%	77.2%
6中国・四国	39		140	179	21.8%	0.0%	78.2%
7九州	14	1	93	108	13.0%	0.9%	86.1%
総計	535	19	1,785	2,139	22.9%	0.8%	76.3%



	人数				割合		
	取得	受験資格だけ	未取得	総計	取得	受験資格だけ	未取得
1病院・診療所	423	16	1,290	1,729	24.5%	0.9%	74.6%
2在宅介護支援センター	16		85	101	15.8%	0.0%	84.2%
3老人保健施設	8	1	129	138	5.8%	0.7%	93.5%
4保健所・社会復帰施設	12		7	19	63.2%	0.0%	36.8%
6大学	30	1	62	93	32.3%	1.1%	66.7%
8専門学校			5	5	0.0%	0.0%	100.0%
9自宅会員	15		88	103	14.6%	0.0%	85.4%
その他	31	1	119	151	20.5%	0.7%	78.8%
総計	535	19	1,785	2,339	22.9%	0.8%	76.3%



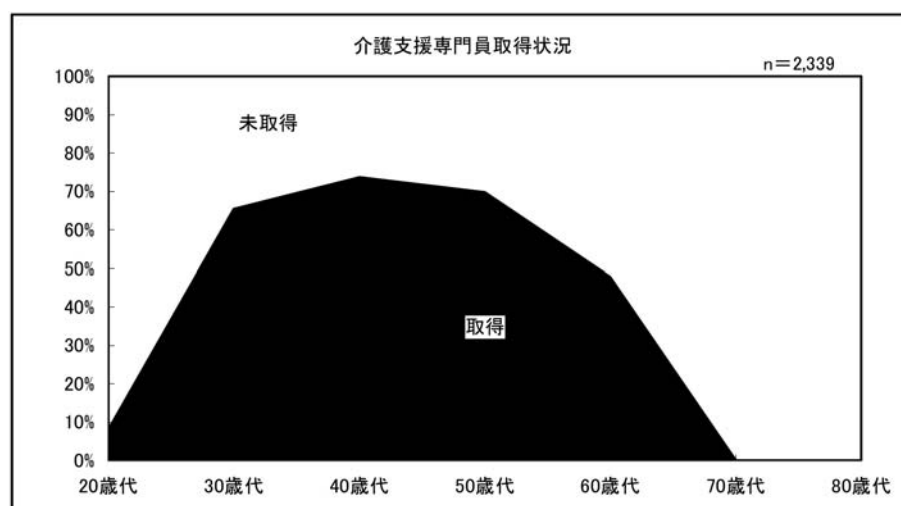
⑥介護支援専門員取得状況

	人数			割合		
	女性	男性	総計	女性	男性	総計
取得	807	361	1,168	47.9%	55.3%	49.9%
未取得	879	292	1,171	52.1%	44.7%	50.1%
総計	1,686	653	2,339	100.0%	100.0%	100.0%

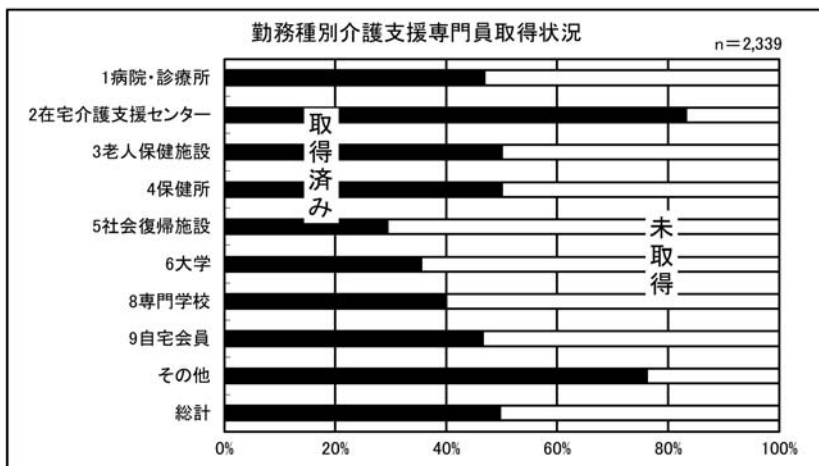
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	総計
取得	57	522	345	221	23			1,168
未取得	643	276	123	96	25	5	3	1,171
総計	700	798	468	317	48	5	3	2,339

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	総計
取得	8.1%	65.4%	73.7%	69.7%	47.9%			49.9%
未取得	91.9%	34.6%	26.3%	30.3%	52.1%	100.0%	100.0%	50.1%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

全体では5割の取得率であるが、年代別では30歳代から50歳代にかけて7割近くが取得している。20歳代が1割も満たないのは、受験資格に5年の現場経験が必要なためであると思われる。30歳代以後の高取得率は、介護支援専門員の業務に就いているか否かにかかわらず、業務と密接している資格であるからであろう。それは、勤務種別の取得率を見ると明らかで、より密接している在宅介護支援センターでは8割の会員が介護支援専門資格を取得している。



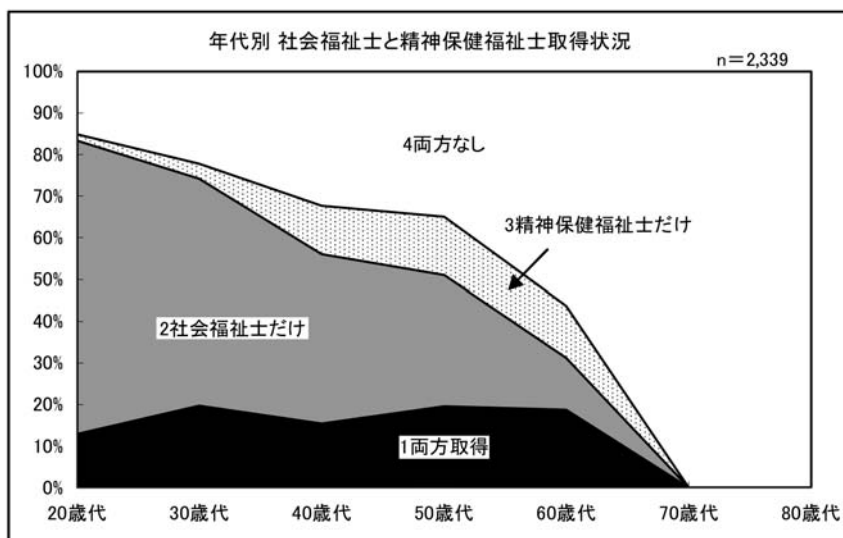
	人数			割合	
	取得	未取得	総計	取得	未取得
1病院・診療所	811	918	1,729	46.9%	53.1%
2在宅介護支援センター	84	17	101	83.2%	16.8%
3老人保健施設	69	69	138	50.0%	50.0%
4保健所・社会復帰施設	6	13	19	31.6%	68.4%
6大学	33	60	93	35.5%	64.5%
8専門学校	2	3	5	40.0%	60.0%
9自宅会員	48	55	103	46.6%	53.4%
その他	115	36	151	76.2%	23.8%
総計	1,168	1,171	2,339	49.9%	50.1%



⑦社会福祉士取得者と精神保健福祉士取得者のクロス集計

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	総計
1両方取得	90	157	72	62	9			390
2社会福祉士だけ	493	435	190	100	6			1,224
3精神保健福祉士だけ	11	29	55	44	6			145
4両方なし	106	177	151	111	27	5	3	580
総計	700	798	468	317	48	5	3	2,339

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	総計
1両方取得	12.9%	19.7%	15.4%	19.6%	18.8%			16.7%
2社会福祉士だけ	70.4%	54.5%	40.6%	31.5%	12.5%			52.3%
3精神保健福祉士だけ	1.6%	3.6%	11.8%	13.9%	12.5%			6.2%
4両方なし	15.1%	22.2%	32.3%	35.0%	56.3%	100.0%	100.0%	24.8%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



【参考】

(個人情報の管理の原則)

第12条個人情報とは、利用目的の達成に必要な範囲内において、正確かつ最新の状態で管理するものとする。

2 前項の目的のために定期的に全会員に対し、会員本人の個人情報を通知して確認を求めるものとする。